

医学英語 1 b

【医学英語1b(前学期)単位数:1単位, 授業13コマ(定期試験含まず)】

【医学英語1b(後学期)単位数:1単位, 授業13コマ(定期試験含まず)】

1 科目責任者

平田亜紀 准教授(外国語)

科目担当者

小川恭佑 助教(外国語)

James Herron (非常勤講師)

2 教育目標

(1) ねらい(I-2-c, II-4-c, III-2-c, III-10-c)

- ① コンピテンスである「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション」「医療知識と科学的探究心」を理解するために、以下のことを学修する。
 - (1) 他者の多様な価値観を尊敬できることへの理解を深める
 - (2) 患者・家族の疾病と治療に対する捉え方に配慮した意思決定の重要性について説明できる
 - (3) 根拠のある情報を選択し、情報源を明示することの重要性を説明できる
- ② こちらのねらいを達成するための医療英単語や、医療英会話とその周辺知識を学習する。

(2) 学修目標

- ① 人体の構造と機能, common diseasesとその症状に関する語の意味を理解し、綴り・発音が実践できる。
- ② 医学用語の名詞に頻出する不規則複数形を理解し、未知語に対して応用できる。
- ③ 医学用語に頻出する接頭辞・接尾辞・連結形を理解し、未知語に対して応用できる。
- ④ 人体の構造と機能, common diseasesとその症状に関する英文や動画の内容の意味をくみ取ることができる。
- ⑤ 分詞構文を含む英文の構造を正しく理解することができる。
- ⑥ 関係代名詞, 分詞, 動名詞, 不定詞, 並列などが使用された英文の構造を正しく理解することができる。
- ⑦ 医療小説を通じて、医療現場での患者対応における共感力の重要性が理解できる。
- ⑧ 異なる文化的背景に根差した医療観や倫理観が理解できる。
- ⑨ Students will develop communication skills to build good relationships through dialog with patients and their families and will be able to explain medical content in an easy-to-understand manner.
- ⑩ Students will be able to critically select and express various information via presentations.

3 成績の判定・評価

(1) 総合成績の対象と算出法

医学英語1b(前学期):

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	60%	記述式を原則とする(選択問題含む)。
演習点	○	40%	<p>内訳:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5% 各回の開始時に実施される『キクタンメディカル』(指定教科書)に準拠した小テスト演習の合計点 ・25% 各回の終了時に実施される復習小テスト演習や参加型演習 ・10% 「英語で倫理を考える」 <p>小テスト演習の実施および採点方法：<u>授業開始から5分を過ぎて入室した学生の当日の受験は認めない。</u></p> <p>その他の演習の採点方法:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。 ・倫理回は授業内ガイダンスで説明する。
態度	○	—	態度不良の場合は、総合成績から10点を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

医学英語1b(後学期):

	成績対象	割合	方法・コメント
定期試験	○	40%	<p>20% 平田・小川回 記述式を原則とする(選択問題含む)。</p> <p>20% James Herron回 A final presentation created by the student will be delivered to the class and account for 20% of the overall grade. (ファイナルプレゼンテーションは原則、授業最終日に実施され、定期試験日ではないので留意すること。)</p> <p>欠席時の対応は科目責任者へ問い合わせること。</p>
演習点	○	60%	<p>30% 平田・小川回</p> <p>内訳:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5% 開始時に実施される『キクタンメディカル』(指定教科書)に準拠した小テスト演習の合計点 ・25% 各回の終了時に実施される復習小テスト演習や参加型演習 <p>小テスト演習の実施および採点方法：<u>授業開始から5分を過ぎて入室した学生の当日の受験は認めない。</u></p> <p>その他の演習の採点方法：指示されたタスクの完成度により判断。当日の授業内の課題のみではなく前後の回に実施される内容も含まれるので注意すること。</p> <p>30% James Herron回 内訳:</p> <p>In-class activities will be submitted via Google Classroom and account for 30% of the overall grade.</p> <p>演習は原則「参加をしている・トライをしている」ことに点数を付けます。正答率は採点基準ではありませんが、期末試験の準備も兼ねているので丁寧に取り組みましょう。</p> <p>欠席時の対応は科目責任者へ問い合わせること。</p>
態度	○	—	態度不良の場合は、総合成績から10点を限度に減点する。

出席：定期試験を受験するためには欠席率が3分の1を超えてはならない。

(ファイナルプレゼンテーションは原則、授業最終日に実施され、定期試験日ではないので留意すること。)

(2) 合格基準

前学期・後学期 共通:

評価対象の合計が60%以上(又は60点以上)で合格とする。

(3) 再試験・再評価の方法

前学期・後学期 共通:

上記(2)で総合成績が60%未満の場合は、再試験を実施する。

再試験は定期試験に準ずる試験と、追加課題を課す。60%以上を合格とする。

(4) 課題(試験やレポート)へのフィードバック

前学期・後学期 共通:

AIDLE-KやGoogle Classroomに記載ほか、授業冒頭にて口頭で行う。

4 教科書

前学期・後学期 共通:

書名	著者名	出版社	教科書として指定する理由
キクタンメディカル: 聞いて覚える医学英単語 (2) (医学英語シリーズ 6) — 症候と疾患編	高橋 玲	アルク	医療英単語が網羅的に記載されており、1年生～4年生の小テストで使用するため
キクタンメディカル: 聞いて覚える医学英単語 (3) (医学英語シリーズ 7) — 診療と臨床検査編	高橋 玲	アルク	医療英単語が網羅的に記載されており、1年生～4年生の小テストで使用するため

5 参考図書

前学期・後学期 共通:

書名	著者名	出版社	参考図書とする理由
The Concise Human Body Book	Steve Parker	Dorling Kindersley Limited	一般書ながら、人体の構造や機能について簡潔な文章と詳細なイラストでまとめられている。
Medical Terminology for Healthcare Professions https://pressbooks.uwf.edu/medical-terminology/	Andrea M. Nelson et al.	University of West Florida Pressbooks	接頭辞・接尾辞・連結形などが丁寧に解説されている。また、いわゆる「単語帳」とどまることなく、解剖学・生理学の文脈の中で医学専門用語を理解することができる。
Anatomy and Physiology 2e - 2e https://open.umn.edu/opentextbooks/textbooks/169	J. Gordon Betts et al.	OpenStax	下記 プロメテウスと合わせて読むと、医学専門用語のみならず、医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
Anatomy: An Essential Textbook (Thieme Illustrated Reviews) 第3版	Anne M. Gilroy et al.	Thieme Medical Pub	教科書として採用している Human Body の説明文の少なさを補う意味において有効。下記 プロメテウスと合わせて読むと、医学専門用語のみならず、医学書に頻出する動詞などの習得ができる。
プロメテウス解剖学 エッセンシャルテキスト	Anne M Gilroy (著), 中野隆 (監訳)	医学書院	医学専門用語(解剖の用語)の基本的な知識を日本語で理解する上で有用。
Exploring Public Speaking - 4th Edition https://open.umn.edu/opentextbooks/textbooks/411	K. Barton et al.	University System of Georgia	This textbook describes the theories of public speaking and offers practical advice to improve communication with an audience, including developing presentation aids and accounting for cultural diversity.

6 準備学習（予習・復習）

予習・マインドセットとして授業開始前に、学習範囲を確認するクセをつけましょう。

復習を1コマあたり最低でも各 0.5 時間勉強することを推奨します。

医用英単語の「からくり」は講義からある程度学ぶことができます。一方、英語を使いこなすには自立・自律学習が求められます。キャリアを通して一生使うものですので、毎回コツコツと身に着けていきましょう。その意味では授業はペースメーカーの役割でしかなく、小テストの正答率などをその目的地としてはいけません。また、上記の勉強時間はあくまで目安です。時間を費やすことを主とするのではなく、自分に必要な勉強時間数を確保してください。

【授業を受ける際の注意】

授業には、ノートパソコンかタブレットを持参すること。スマートフォンの小さい画面は学習に不向きのため不可。

上記「3 成績の判定・評価」にもある通り、小テスト演習は定期試験の準備も含まれていますので、わからない箇所はその都度丁寧に解消していきましょう。

【欠席した場合の注意】

- ① 教務課だけではなく、科目責任者とその回の担当者に連絡を入れること。
- ② AIDLE-K上の資料や、友人に確認するなどして、学習が途切れないよう心掛けてください。
- ③ 平田・小川回では、欠席した日の小テスト演習は別途受験することができます(点数は事由により多少の減点をする場合があります)。

7 授業計画

(1) 講義の方法

<前学期・後学期, 平田・小川回 共通>

医学専門用語と構文読解に重点を置く回では、動画視聴・リスニング、構文読解、Study Guide (学習ガイドシート)での演習とその解説講義(知識伝達)。

<後学期, James Herron 回>

医療英会話の重点を置く回では、教員と学生、また学生同士のインタラクションを重視したアクティブ・ラーニング型授業を少人数で行う。

(2) 講義の内容

<前学期・後学期, 平田・小川回 共通>

医学専門用語、とくに身体の器官の英語での名称を学習する。語の暗記だけではなく、英文で書かれた機能に関する記述や動画の説明などの理解も通して、語学の基礎的な4技能のうち読む・書く(スペリング)・聴く・話す(発話)の強化を行う。また、授業冒頭で指定教科書から出題する小テスト演習を、終了時にその回の復習語彙テスト演習を行う。いずれも演習であるため参加点を原則とする。

「英語で倫理を考える」回では、倫理にまつわる英文を読解し、多角的な視野を獲得する。

英米医療小説講読では、小説を通して医療について学ぶ。

<後学期, James Herron 回>

医学英語1aに引き続き、外国にルーツを持つ患者の多様な価値観が世の中に存在すること、自らの想像力の限界を認めつつも相手の状況をより深く理解するために必要とされる英語での質疑ができるようになるよう学習を進める。こちらは語学の応用的な技能のうちコミュニケーション(対話)の訓練に相当する。